

STANDBY

志のある経営者のための

Impulse seminar

www.standby.jp

Introduction

- **今、日本に必要とされるのは、志を持って具体的な行動ができるリーダーです。**
 - 志だけ → 空回り ×
 - うまく立ち回るだけ → 誰もついていけない ×

これからの日本において、どうありたいか、そしてそれをどう具体的に形にしていくのか、が求められます。

Contents

1

日本にはもはや安全な企業はない！

2

対抗しうる『正の波紋』を創り出すのみ！

3

村松達夫が描く、対抗シナリオ！

4

そして、あなたはこれから何をしますか！

日本企業の99.7%は中小企業

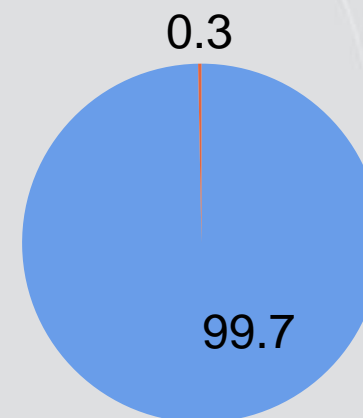
1表 産業別規模別事業所・企業数（民営）

(2) 企業ベース

産業	年	中小企業		大企業	
		企業数	構成比 (%)	企業数	構成比 (%)
鉱業	2001	2,618	99.7	9	0.3
	2004	2,306	99.8	5	0.2
	2006	2,082	99.8	4	0.2
建設業	2001	543,397	99.9	363	0.1
	2004	507,086	99.9	319	0.1
	2006	489,343	99.9	302	0.1
飲食店、宿泊業	2001	742,710	99.9	914	0.1
	2004	677,377	99.9	883	0.1
	2006	647,754	99.9	860	0.1
医療、福祉	2001	175,542	99.9	261	0.1
	2004	178,743	99.9	249	0.1
	2006	188,514	99.9	238	0.1
非1次産業計	2001	4,689,608	99.7	13,431	0.3
	2004	4,325,790	99.7	12,345	0.3
	2006	4,197,719	99.7	12,351	0.3

資料：総務省「事業所・企業統計調査」再編加工

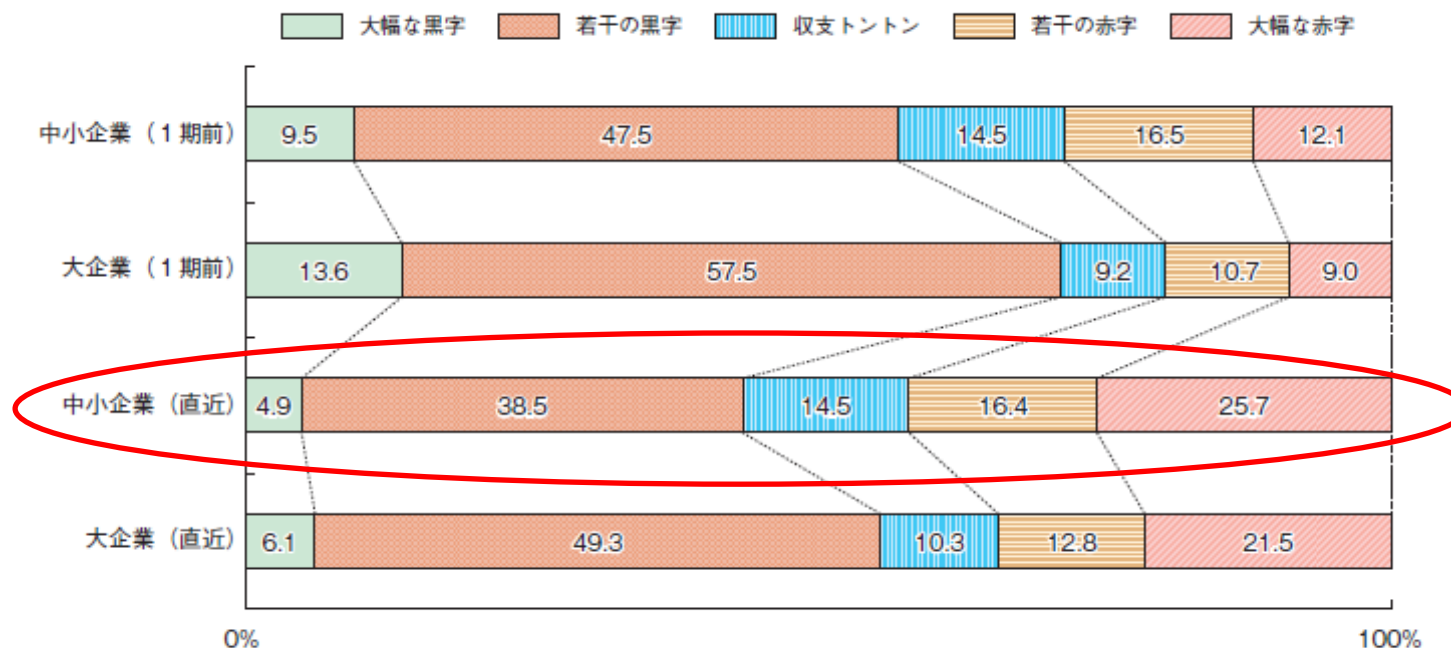
日本企業比率



■ 中小企業
■ 大企業

中小企業の赤字割合は42.1%

～中小企業の赤字企業の割合は、28.6%から42.1%に増加～



資料：中小企業庁委託「企業の雇用情勢及び政府の支援施策に関する調査」（2009年11月、みずほ総合研究所（株））

黒字、赤字、というのは、あくまでも利益ベースである。ほとんどの中小企業はここから借入金の返済を行わなければならないため、若干の黒字企業ですら資金繰りに追われている。

震災が経済に及ぼす、負のスパイラル

①震災影響で中小企業が倒産すると
失業者が増える



②失業者には当然モノやサービスは
売れない



③物やサービスが売れないと、
資金繰りが苦しい企業から倒産→①



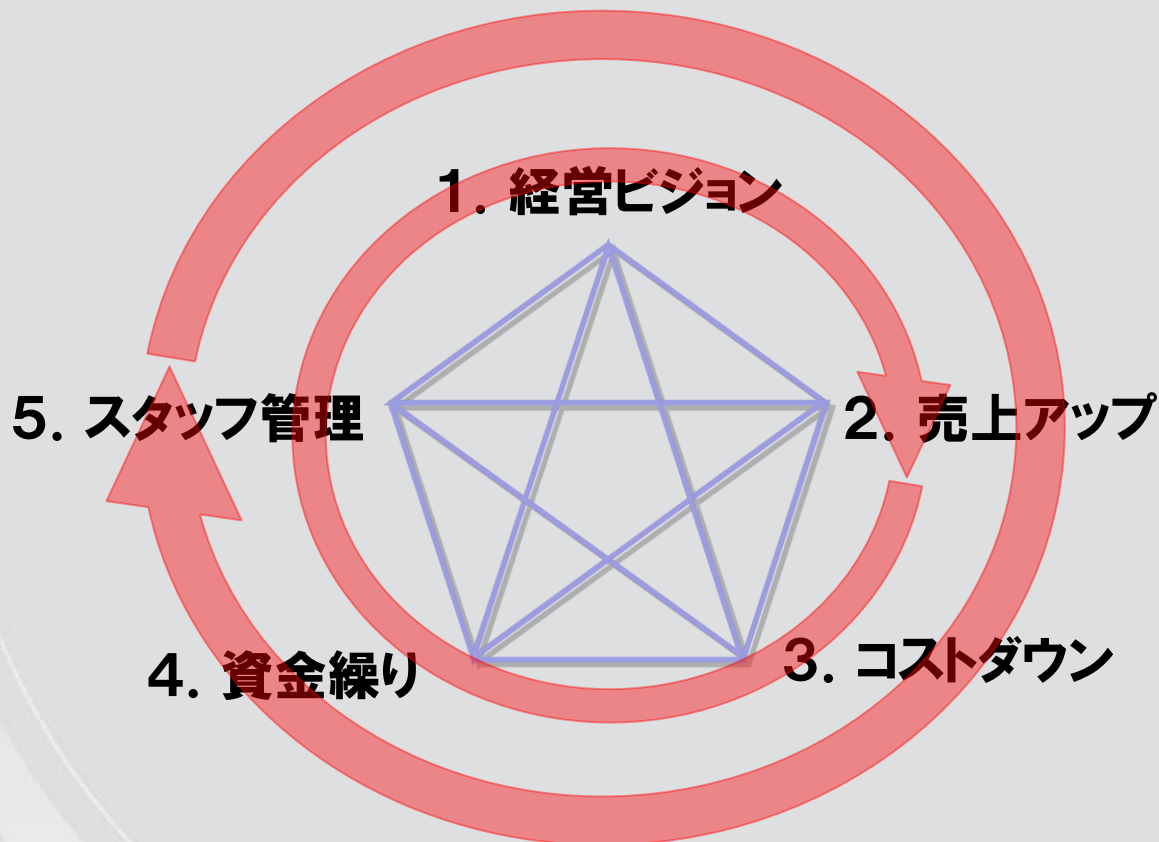
中日新聞 2011.3.28より抜粋

負のスパイラルを打ち消す、もう1つの波紋

1. 自社を何が何でも守り抜き、
雇用を維持し続ける
↓
2. 新しい需要を起こし、新しい
消費活動に火をつける
↓
3. 企業が潤い、そこで働く人
たちに社会生活を続けてもらう

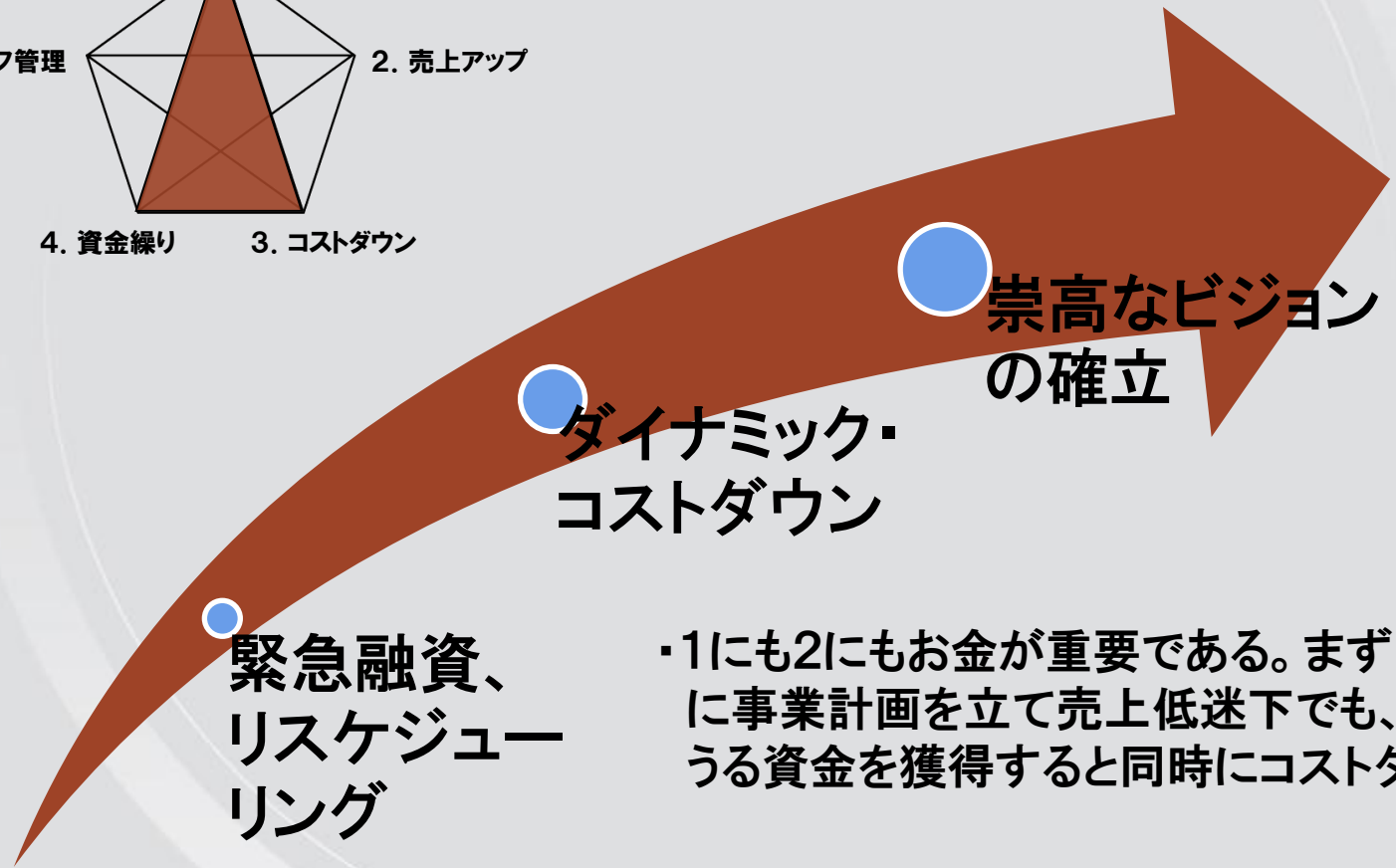
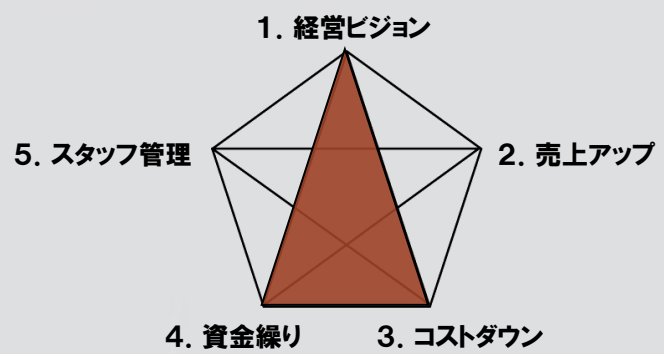


クインテット・ソリューション emergency formation



5つの経営対策をスピーディーかつ同時に回し続けることこそ、『正のスパイラル』を巻き起こす原動力である。

Formation1 (緊急対策)



・1にも2にもお金が重要である。まずは早めに事業計画を立て売上低迷下でも、耐える資金を獲得すると同時にコストダウン。

非常時の資金繰り・コストダウン策とは？

●資金繰り

- 取引銀行に融資依頼
- ダメなら他行を当たる
- 万策尽きたらリスケ

●コストダウン

- 聖域をすべて排除する
- 専門部門以外のカット
- 先行投資の見合わせ



Formation2 (精鋭部隊)

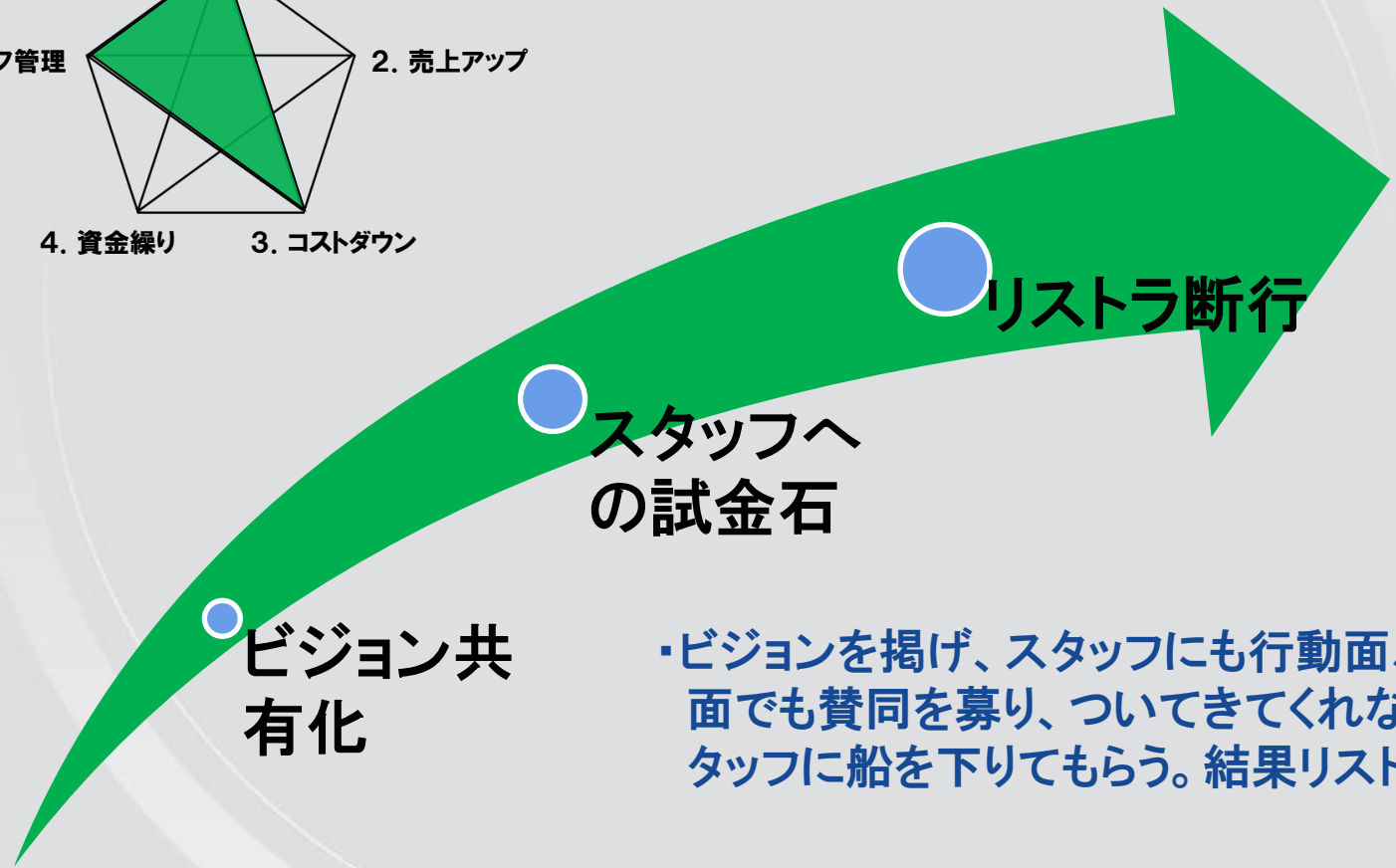
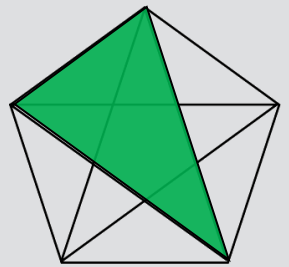
1. 経営ビジョン

5. スタッフ管理

2. 売上アップ

4. 資金繰り

3. コストダウン



ビジョン共有化

スタッフへの試金石

リストラ断行

・ビジョンを掲げ、スタッフにも行動面、金銭面でも賛同を募り、ついてきてくれないスタッフに船を下りてもらう。結果リストラ。

今、つながるべき、理想のスタッフ像とは？

●ビジョン共鳴

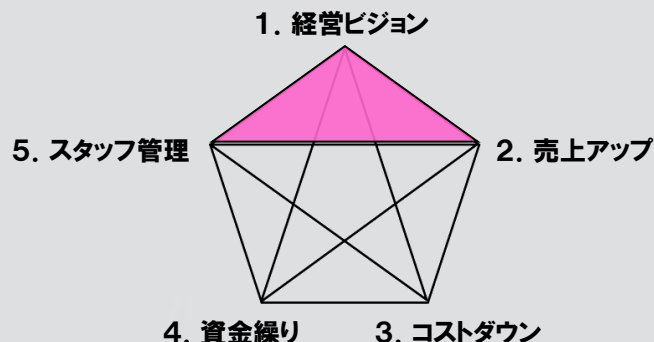
- ビジョンに共感
- 自らアイデア創出
- 具体的行動で示す

●金銭負担

- ボーナスカット承諾
- 給与カット承諾
- 歩合給承諾



Formation3 (新時代到来)



精鋭スタッフ
アクションプ
ランニング

ビジョン具現
化(FREE)

つながりビジネ
スの誕生

- ・当面はダイレクトに売上アップを図ろうとはせず、『FREE』を自社流に行い、社会に認められる活動をする。復興時の火種。

これから望まれていく、ビジネス像とは？

●FREEの本格始動

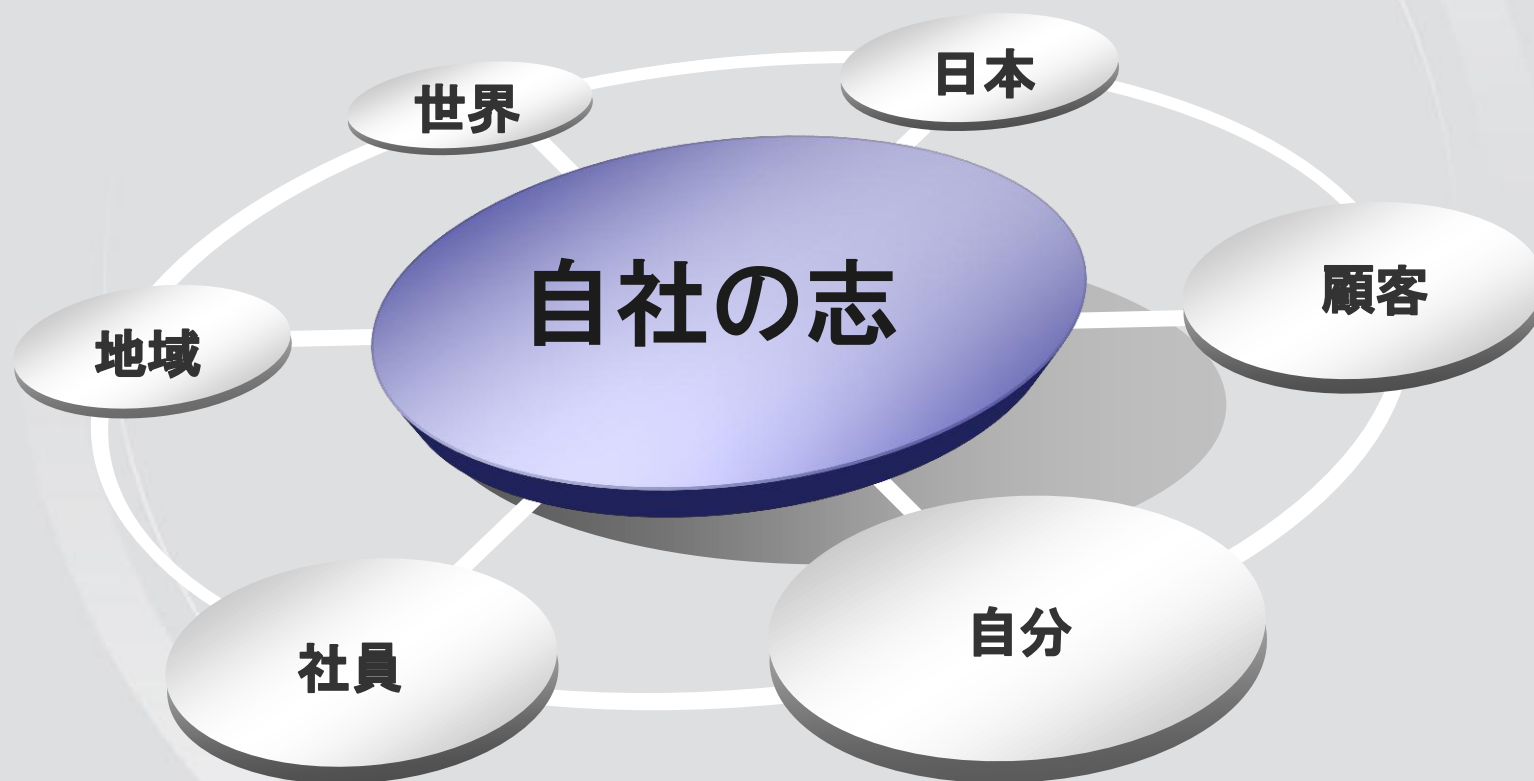
- 無料で情報を流す
- ボランティアを企画
- コミュニティ形成

●新時代のビジネス

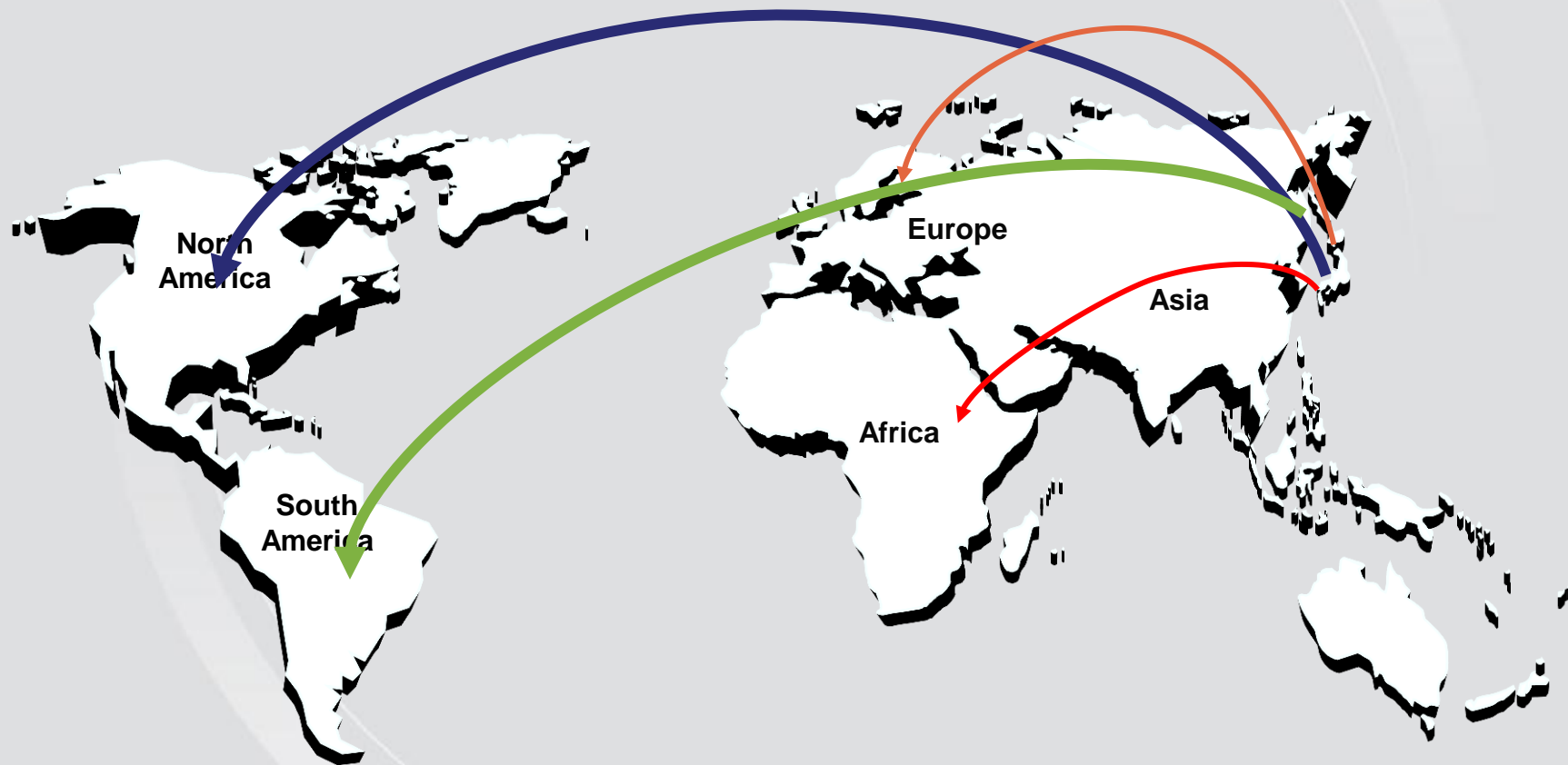
- 高次元のワークシェア
- ハイクオリティの維持
- Social positionの獲得



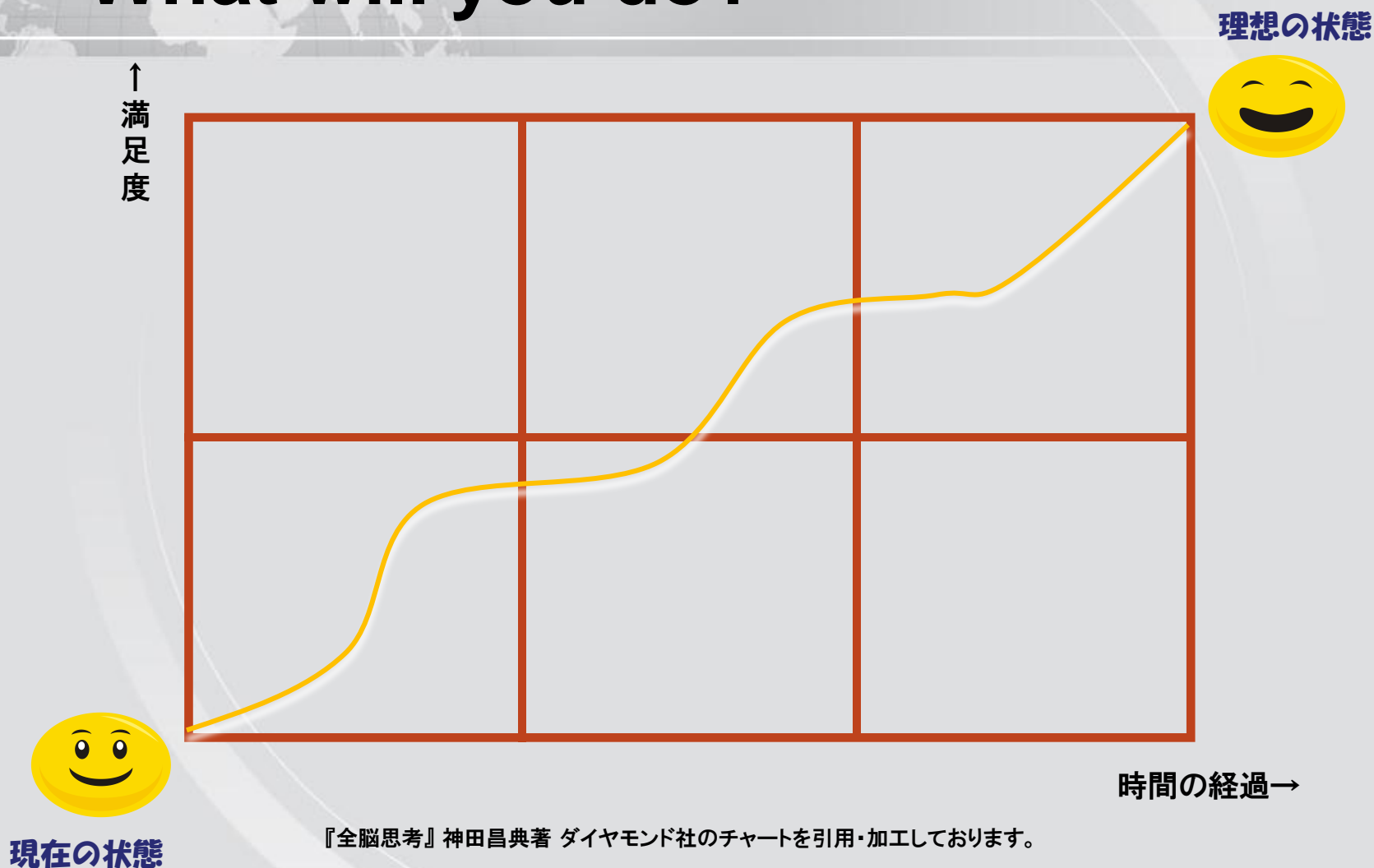
今こそ、できるだけ多くの人と“つながる”時！



From “pray for Japan” to “pray for the world”.



What will you do?



STANDBY

Thank You !

<http://www.standby.jp> |

